

韓国・旭支会と国際連帯を実感

労働者は一つ！団結して闘おう！

二月二六日、旭硝子の韓国法人による大量解雇攻撃と闘う民主労総旭支会の遠征団が我が支部を訪問され、交流する機会を得ました。

来られたのはナムギウン主席副支会長、ソンドンシユ文化体育部長、チャンミョンシユ調査統計部長の三名です。三六歳、三九歳と若く、熱い気持ちをもらった青年でした。

旭支会は、二〇一五年、あまりに過酷な労働条件（一週間四日は三交代、週末は昼夜二交代、休憩

時間無し、非人権的な懲罰など）に、人間らしく

生きたいと労働組合を結成しました。一時は百三十八名を組織し、社内が変わりました。しかし、

資本は組合結成から一ヶ月後、メール一本で全員



を解雇してきたのです。

以降、支会組合員は二十三名になりましたが、テント籠城や日本遠征など闘い続けています。

今回は二度目の日本遠征ということで、関西にある旭硝子尼崎工場への申し入れ情宣活動が取り組まれました。

旭支会の闘争の概略を聞き、ナムギウン氏は「旭支会の闘いは自分たちだけの闘いではない。闘いはじめて亀尾地域に何も言えない労働者がたくさんいることを知った。



組合つくる前の自分もそう。だからこの闘いの正当性を多くの労働者に知らせたい」。ソンドンシユ氏は「労働組合をつくったことは何も間違っていない。団結の力で社内が変わった。解雇は納得できない。怒りをもって闘っている」など熱く語ってくれました。

その後、港合同の闘い

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

3/24 3月24日(土曜) PM1時開場-1時半開会/会場: エルシアター(地下鉄/京阪天橋南)資料代 500円

とめよう! 戦争への道 2018 関西のつどい

憲法九条の改憲を許すな! / 廃止せよ! 違憲の戦争法 普天間基地即時撤去! / 絶対反対! 辺野古・高江新基地

イラク開戦から15年—この間、海外派兵・集団的自衛権行使の動きが進んできました。沖縄での新基地建設も進められています。そして今や、9条改憲へと向かっています。戦争への道を止め、戦争も基地もない未来を創りましょう!

講演者プロフィール

■ 藤澤 隆二 (ゆなざわ たかじ) ひろし、1946年生まれ) 志村04年から09年まで、内閣官房副長官補を務める。安倍内閣が閣議決定で集団的自衛権の行使をできるとした憲法解釈の要を批判した。著書「検証 憲法のイラク戦争」「この国の安全保障」他

■ 安次富 浩 (あしとみ ひろし、1946年生まれ) 志村へ入り基地反対協議会共同代表。元沖縄県議員。退職後は、普天間飛行場が沖縄から除去され、辺野古に新基地を作らせないために、非暴力行動で運動の先頭に立つ。

● 会費: エルシアター (北区内各分支部) デモ出発 PM4:15 ~ 西梅田公園まで

■ 参加費 団体: 1口 3000円 / 個人: 1口 1000円
■ 郵便振込先: 00920-7-236371
しないさせない戦争協力関西ネットワーク

主催: 大阪平和人権センター/しないさせない戦争協力関西ネットワーク / 戦争をさせない1000人委員会・大阪

の歴史や、組織のつくり方、運動の考え方などについて紹介し、議論しました。韓国にはないものとして真剣に聞いてくれました。

東京に戻られて開かれた集会で、ナムギウン氏が「港合同を訪問し、受けた連帯は運動で返す、

と学んだ」と発言されたそうです。すごい通じ合えたと感動しました。

支部での交流を終えてから、関西青年労働者集会実行委員会が主催した激励交流会を田中機械ホールで行いました。

乾杯をした瞬間、ナムギウン氏が一気に地ビ-

9条に自衛隊は戦争! あらゆる職場地域で 百万人署名ひろげよう

改憲案をまてめる 3・25自民党大会を許さない大デモ!

アラート訓練反対 労働組合は戦争協力 を拒否して闘おう

9条改憲 発議 絶対反対!

朝鮮戦争とめよう!

3.25大行進 in HIBIYA

日時: 3月25日(日) 13時~15時 集会后、銀座を元々行進
場所: 日比谷野外音楽堂 (東京都千代田区日比谷公園1-6) 資料代500円

主催: 改憲・戦争阻止! 大行進 実行委員会
呼びかけ: 西川隆則 (とめよう戦争への道) 西万人署名運動事務局、製菓分子 (日本の丸、不都合な労働者)、花崎不二男 (日比谷地区労働者)、全日本建設労働者連合関西地区又生「ん」交、全国金属労働者組合連合会、関西千原動力車労働組合

ルを飲み干しました。けっこうなビール好きらしく、「すごい美味しい」と絶賛。国際連帯の深まりをいろんな面で実感できた交流会になりました。

ソンドンジュ氏が「お会いできて良かったです。必ず戻ってお目にかかれと思います」とメール

をくれました。

同じ金属労組、金属労働者として団結して、彼らが目標とする原職復帰と亀尾地域にたくさん労組をつくることを、日本でも共にやっていきたいと思います。闘争。

昌一金属支部 K

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!